



# 一中の風

令和6年度1月号

No. 9

小金井市立小金井第一中学校 学校だより

## 教えてもらったことは忘れる

(すきやばし次郎主人：小野二郎)

今号は職人さんの考え方や生き方を皆さんに紹介します。皆さんがふだん学習する機会や、部活動に取り組む際の姿勢、あるいは将来の進路選択などに重ね合わせて参考にしてほしいと思います。

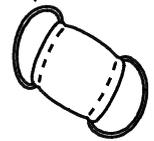


親方とか先輩に教えてもらおうと思って入ってくるのは大きな間違いで、自分が上の人のやり方を盗んで勉強して進歩していかなければいけない。というのは、教えてもらったことというのは忘れるんですよね。自分が盗んだものは忘れない。会社なんかでも同じだろうと思うんだけど、ポッと教えてやったら忘れちゃいます。自分が苦勞して、苦勞してこれを必ず自分のものにしようと思って、やっと盗んだものは決して忘れない。

だからうちの若い連中に、鮨の握り方を覚えろだの何だのとは言わないですけど、皆、昼飯が終わると、冷たい飯を温めて、自分で握る勉強をしています。そういうことを自発的にやれるようになきゃダメですよ。私なんか握るのを遠くから見ていて、そんなので覚えられるくらいなら、苦勞なんて誰もしやしませんから。これは本人が自覚していくよりほかないんです。それができない人間では、一生良い職人にはなれませんね。でも実際、この店に来て、まともにやって残るのは10年に一人か二人くらいでしょう。

だいたい、家がこれだけ雑誌やテレビに出ても、ここで修行したいって言う子はめったにいませんよ。

でも、どっちみち自分が寿司屋でしっかり勉強した方が、独立した時に良い仕事ができる、いいお客様をとれると思うんですよ。でも、そういう店は厳しいから嫌だという。



自分のわがまま放題、好き勝手なことをやっても将来ずっと通るかと言えば、私は通らないと思います。何事も一番底辺から覚えていなかったら、一人前にはなれません。まず、10年は辛抱しないと、その仕事をほとんど芯から覚えていくことは難しい。

でも、朝が早いから嫌だとか、夜遅いから嫌だとか、そういう人たちはばかり。これは人間の基礎ができていないんじゃないかと思うんです。だから私はよく言うんです。一つの仕事を一生懸命やって、苦勞して少しずつ頭を持ち上げていったら、自分が将来一番楽だろうって。一人前になって家庭を持ったときでも、苦勞が少なくすむと思うんですよ。

皆さんはこの話を読んでどう思いましたか。何かをやろうとしたときに、確かに進んでやったことは記憶にも鮮明に残りますし、しっかりと自分の血肉として身に付いていくなと思います。

皆さんも、ご主人の見方や生き方を参考に見てみてください。

## 中庭プロジェクト 12月21日(木)

今回の中庭プロジェクトも、前回同様じゃんけん列車を行いました。前回と違う点は、最後まで勝ち残った先頭の生徒が「じゃんけん王(前回チャンピオン)への挑戦権」を得る所です。王者奪還か防衛成功か…。

白熱した戦いの末、前回王者が防衛に成功しました！

学年の枠を超えて全校で楽しめる企画を、引き続き生徒会役員執行部で企画・実行していきます。(田中)



## 年度末 学校アンケートへのご協力をお願い

日頃から本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。本校では年度末に教育活動の充実のためにアンケートを行っております。アンケートはwebでの回答となります。右の二次元バーコードをスマートフォン等で読み込み、アンケートにお答え下さい。(メールシステムでもご案内します。その際は添付のリンクからアンケートにお答えください。) ご協力、よろしくお願いいたします。



●期間 令和7年2月3日(月)~2月10日(月)●

## 小金井市小中学校連合作品展 出展作品

多くのご参観ありがとうございました。

開催期間中は小学生の見学などもあり、中学生の作品に「すごい!」と感心する姿も見られました。

(福田・山積)



## 活躍する一中生!

**卓球部** 第10ブロック新人卓球大会 団体の部

●【男子団体】優勝 小金井一中 ●

●【女子団体】第3位(ベスト4) 小金井一中 ●

**野球部**

多摩武蔵杯ベスト8

ジャイアンツ杯ベスト8



**吹奏楽部**

アンサンブルコンテスト 銀賞

